

保育所等訪問支援 職員自己評価アンケート

令和6年度
幼児発達支援室

回収率：6/6 100%

評価：4=そう思う 3=ややそう思う 2=あまり思わない 1=思わない

番号	評価項目	4	3	2	1	工夫している点、課題や改善すべき点、その他意見
1	開始前にサービス内容・重要事項説明書など説明をわかりやすく行った。	6	0	0	0	案内が電話でも、説明事項は対面でお伝えしている。
2	サービス内容を説明したうえで、保護者が納得し、サービスがスタートしている。	6	0	0	0	保護者が支援をイメージできるよう伝えている
3	個別支援計画作成にあたり、保護者と園の聞き取りを十分に行った。	5	1	0	0	訪問開始前のある程度の支援の方針が立てられるようにしている
4	作成した支援計画は利用児と保護者の意向に沿ったものである。	6	0	0	0	ご納得いただいてから支援がスタートできるようにしている
5	訪問支援は支援計画に沿った内容で、効果的な支援となった。	4	2	0	0	職員配置や保育内容などの園の方針で、計画の立案が難しい部分があった
6	訪問支援サービスが行われたことで、園、家庭、訪問支援員の三者間で連携が取れたと感じる。	4	2	0	0	園と家庭双方の思いが一致すると、支援が同じ方向でスムーズに進むと感じた
7	訪問後の報告をわかりやすくし、相手が理解していたかを確認した。	5	1	0	0	紙面でのフィードバックを希望している園には確認が難しく、意見を汲みにくい
8	訪問支援員と担任（園長など）との情報共有は十分に行った。	3	3	0	0	園の方針や担任の意向をフィードバックに職員が実感できるよう行っていく
9	不満や要望を訪問支援員に言いやすい雰囲気をつくっている、または話す機会を作っている。	5	1	0	0	話す機会には必ず先方に「何かありますか」と伺うようにしている
10	要望や苦情およびトラブルには迅速に対応するしくみを整えている。	4	2	0	0	職員間での周知を徹底する

自由意見

- 保育所等訪問支援を経験し、園によって方針や雰囲気の違いなど実感し、職員として学びとなった。
- 園と家庭双方の思いが一致していると、支援が同じ方向でスムーズに進むと感じた。
- 制度そのものについて、保護者や園の理解度に違いがあるため、開始前の聞き取りや説明が重要だと感じた。支援の在り方について、同じ事業を実施している他の事業所と情報交換する機会があると良い。
- 保育所等訪問支援は、お子さんのソーシャルスキルなどの理解や、適切で具体的な支援方法が求められる。集団より先ず個々の関わりが必要な2～3歳児については、個別指導を経験している場合、個別指導での指導方法や支援内容を集団生活に置き換えて想定できるため、支援方針が立てやすいことがあった。